



いちはら粘菌の会

第 38 号 令和 4 年
2022 年 6 月 1 日発行



野の番人に今日も
会えた! 5/11

暑さと雨、市原の地でも粘菌の発生が観られる
ようになりました。昨年観られたあの場所で今年も
彼らに会えるかな? ワクワクする道中では、思い
がけない発見や驚きもあるものです。平凡な日常に
こそ、平和があることをつくづく思う昨今です。



キューイフルーツの花
粘菌観察の道中の畑にて 5/11

—共生—

19世紀のイギリスの思想家トーマス・カーライルに「生まれた時よりも世界を良くしたい」という言葉があります。それぞれの生き方を尊重して助け合う社会の実現が私たちの課題となりそうです。

人類は武力侵攻をやめて、他の生物と共生する粘菌の生き方を学んでほしいものです。



会顧問 加藤修一

本の紹介

「菌類の世界」青土社

……変形体を動画撮影し 200 倍速すると、人間の心臓(心筋層)の「動き」そっくりになる。……
☆興味深い粘菌のページの一部より



行事予定

6月5日(日) 粘菌観察会 <山木地区>
10時~11時30分 神社駐車場
白幡神社 住所 市原市山木 243
周辺の農道、林で観察です。

7月3日(日) 粘菌観察会 <能満地区>
釋蔵院・府中日吉神社周辺
市民対象で行います。
詳しくは案内パンフにてお知らせします。
☆一般の方の参加費は 500 円です。



粘菌観察会 5/8(日) 参加 11 名 東国吉地区
雨上がりの翌日でした。

☆タケノコ掘り没頭組 4 名は、記念写真に映らずごめんなさい!
☆昨年、5/16 マンジュウドロホコリを発見した民家の廃材の
あった場所へ今年も。★を浴びて、いぶし銀のように輝く姿
を発見! 彼らにとっては、住み良い環境なのですね。

(写真左)

☆竹林の丸太橋に白い何かが?

じっくり観察をするとエダナシツノホコリ です。(写真右下)
—タケノコ組、粘菌組それぞれに収穫あり。—



今年も対面! サビムラサキホコリ(左 5/7) マメホコリ(中)
変形体(右)



東国吉への道
アヤメ 5/10

問い合わせ先

080-5460-5775(中村)

090-7230-4847(佐藤)

090-2476-1361(石井)

☆粘菌交流館住所 市原市東国吉 495